

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価報告書

～平成 30 年度事務実施事業～

二戸市教育委員会

令和元年 8 月二戸市教育委員会定例会（令和元年 8 月 28 日議決）

目 次

第 1	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価	1
1	点検・評価制度の概要	1
2	点検・評価の実施	1
(1)	点検・評価する内容	1
(2)	議会への報告	1
(3)	市民への公表	1
第 2	教育委員会の組織と活動	2
1	二戸市教育委員会の組織	2
2	教育委員会の活動	2
(1)	会議の開催回数	2
(2)	議決の状況	2
(3)	会議等開催内容	3
(4)	総合教育会議の開催内容	5
(5)	教育委員会の会議以外の活動状況	5
第 3	二戸市教育振興基本計画に基づき平成 30 年度に実施した主な事業の取組実績	6
1	点検・評価制度の基準	6
2	二戸市教育振興基本計画の施策体系	6
3	事業の点検・評価	8

第1 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

1 点検・評価制度の概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律には、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが規定されています。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の実施

二戸市教育委員会では、平成28年度に策定した二戸市教育振興基本計画（平成28年度～平成32年度）に掲載されている主要事業の施策区分別に、平成30年度における取組状況について、点検及び評価を行いました。

評価は、それぞれが分野の目的に沿った取り組みができているかどうかについて、担当課による自己評価（一次評価）を行い、その内容について学識経験を有する者の知見を活用（二次評価）して行います。

（1）点検・評価する内容

- ①平成30年度二戸市教育委員会の運営状況（活動内容）
- ②二戸市教育振興基本計画に基づき平成30年度に実施した主な事業の取組実績

（2）議会への報告

二戸市議会9月定例会へ報告書を提出します。

（3）市民への公表

市民への公表は、市議会へ報告後、教育委員会ホームページへの掲載により行います。

【二戸市教育行政に関する点検及び評価等検証委員会委員】（敬称略、順不同）

氏名	委員の区分
斎藤正衛	二戸市学校評議員
樋口敬造	二戸市社会教育委員
堀内正人	二戸市文化財調査委員
小保内 悟	教育全般に学識経験を有する者

第2 教育委員会の組織と活動

1 二戸市教育委員会の組織

教育委員会は、二戸市立の小学校・中学校、図書館などの教育機関の設置、管理及び学校教育、社会教育、文化、スポーツ等に関する事務を担当する行政機関であり、市長が市議会の同意を得て任命した、教育長と4名の委員で構成されています。

教育長の任期は3年、委員の任期は4年で、再任も認められています。

教育長は、会務を総理し、教育委員会を代表します。また、教育委員会の権限に属する事務を処理するために、教育委員会に事務局が置かれています。

【二戸市教育委員会教育長及び委員】（平成31年3月31日現在）

職名	氏名	職歴等
教育長	鳩岡矩雄	元高等学校長
委員（教育長職務代理者）	槻館行男	元小学校長
委員	菅原ゆかり	会社役員
委員	玉川貴広	会社員
委員	佐々木千穂	自営業

2 教育委員会の活動

教育行政の基本的な方針の決定や、諸課題の解決等の重要案件について審議し、諸事項についての意見・情報交換を行うため、毎月教育委員会定例会を開催するとともに、急を要する案件を処理するため、教育委員会臨時会を開催し、教育行政の適正な運営に努めました。

また、市長と教育委員会が教育施策の方向性を共有し、一致して執行に当たるための協議・調整の場として、総合教育会議を開催しています。

（1）会議の開催回数

- 定例会 12回
- 臨時会 2回
- 総計 14回

（2）議決の状況

- 教育委員会規則・規程等の制定・改廃 6件
- 教育機関の長・その他機関等の長の人事 5件
- 協議会・審議会委員等の任命・委嘱 9件
- 市議会定例会提出議案への同意 7件

■ 教科書採択	2 件
■ その他	3 件
□ 総 計	32 件

(3) 会議等開催内容

会議名	月日	内 容
第4回 定例会	4.25	一般報告 議案第1号 二戸市社会教育委員の人事について 議案第2号 二戸市立図書館協議会委員の人事について 議案第3号 二戸市浄法寺文化交流センター運営委員会委員の人事について 報告第1号 二戸市教育委員会の後援・共催等について
第5回 定例会	5.30	一般報告 議案第1号 二戸市立図書館協議会委員の人事について 議案第2号 二戸市学校給食センター運営委員会委員の人事について 議案第3号 二戸市スポーツ推進審議会委員の人事について 議案第4号 市議会定例会提出議案への同意について (1)専決処分の承認を求めることについて (平成29年度二戸市一般会計補正予算(第9号)) (2)二戸市九戸城跡整備振興基金条例 (3)平成30年度二戸市一般会計補正予算(第1号) 報告第1号 二戸市教育委員会の後援・共催等について
第6回 定例会	6.26	一般報告 議案第1号 二戸市シビックセンター運営協議会委員の人事について 議案第2号 二戸市芸術文化振興懇話会委員の人事について 報告第1号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第7回 定例会	7.30	一般報告 議案第1号 平成31年度使用小学校教科用図書の採択について 議案第2号 平成31年度使用中学校教科用図書の採択について 議案第3号 二戸市文化財調査委員の人事について 報告第1号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第8回 定例会	8.27	一般報告 議案第1号 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について 議案第2号 市議会定例会提出議案への同意について (平成30年度補正予算(第2号)) 報告第1号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第9回 定例会	9.28	一般報告 報告第1号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第10回 定例会	10.29	一般報告 報告第1号 二戸市教育委員会の後援・共催について

会議名	月日	内 容
第 10 回 定例会	10. 29	一般報告 報告第 1 号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第 11 回 定例会	11. 26	一般報告 議案第 1 号 二戸市立学校の廃止について 議案第 2 号 二戸市教育委員会表彰の受賞者について 議案第 3 号 市議会定例会提出議案への同意について (1)二戸市立小中学校設置条例の一部を改正する条例 (2)平成 30 年度二戸市一般会計補正予算(第 3 号) 報告第 1 号 小中学校空調設備整備事業について 報告第 2 号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第 12 回 定例会	12. 27	一般報告 議案第 1 号 臨時専決処理に関し承認を求めることについて (市議会提出議案への同意について (平成 30 年度二戸市一般会計補正予算(第 4 号))) 議案第 2 号 その他の教育機関の長の人事について 報告第 1 号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第 1 回 定例会	1. 31	一般報告 報告第 1 号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第 2 回 定例会	2. 13	一般報告 議案第 1 号 平成 31 年度教育施政方針要旨について 議案第 2 号 市議会定例会提出議案への同意について (1)平成 30 年度二戸市一般会計補正予算(第 5 号) (2)平成 31 年度二戸市一般会計当初予算
第 1 回 臨時会	2. 22	議席の決定 議案第 1 号 教育機関の長の人事について
第 2 回 臨時会	3. 20	議案第 1 号 臨時専決処理に関し承認を求めることについて (教育機関の長の人事について) 議案第 2 号 臨時専決処理に関し承認を求めることについて (市議会提出議案への同意について (1)平成 30 年度二戸市一般会計補正予算(第 6 号) (2)平成 31 年度二戸市一般会計補正予算(第 1 号)) 議案第 3 号 課長等の人事について 議案第 4 号 教育機関の長の人事について 議案第 5 号 その他の教育機関の長の人事について
第 3 回 定例会	3. 25	一般報告 議案第 1 号 二戸市教育委員会組織規則の一部を改正する規則 議案第 2 号 二戸市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令 議案第 3 号 二戸市立小中学校に就学すべき者の学校の指定に関する規則 の一部を改正する規則 議案第 4 号 二戸市海上ふるさと交流館管理規則を廃止する規則 報告第 1 号 二戸市教育委員会の後援・共催について

(4) 総合教育会議の開催内容

- 開催 1回 (11月7日)
- 審議内容 学校施設の整備について、文教施設について、ほか

(5) 教育委員会の会議以外の活動状況

- 教育長による学校訪問を行い、学校現場の実態把握のため校長等職員と情報・意見交換を実施しました。
- 市民に学校を公開する日や学校公開研究会などを視察しました。また、学校の式典(入学式・卒業式)や行事(運動会・学習発表会等)へ参加し、児童・生徒を激励するとともに、保護者・地域住民の様子を含めた学校全体の状況把握と情報収集を行いました。
- 岩手県市町村教育委員協議会委員研修会、東北六県市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会などに参加し、教育課題の把握及び分析、委員としての資質向上に努めました。
- 定例会等の会議に付議すべき議案の事前説明やその他協議を要するものについて、教育委員会協議会を開催し、研究と審議を深めました。

第3 二戸市教育振興基本計画に基づき平成30年度に実施した主な事業の取組実績

1 点検・評価制度の基準

A :	平成30年度に実施するものとした計画を、予定どおり完了した。 数値目標に対し、『100%以上』の実績となった。
B :	平成30年度に実施するものとした計画を、概ね達成できた。 数値目標に対し、『80%以上 100%未満』の実績となった。
C :	平成30年度に実施するものとした計画に、やや遅れがある。 数値目標に対し、『60%以上 80%未満』の実績となった。
D :	平成30年度に実施するものとした計画に、かなり遅れがある。 数値目標に対し、『60%未満』の実績となった。

2 二戸市教育振興基本計画の施策体系

基本理念・基本目標 学びの広がるまちづくり、未来を拓く人づくり

分野1 生涯学習の充実

施策（1）広がりと深まりのある生涯学習の推進

- 項目① 多様なメディアを活用した生涯学習情報の発信
- ② 市民の「学び直し」など生涯学習活動の支援
- ③ 学習成果の活用

分野2 学校教育の充実

施策（1）学力向上対策の推進

- 項目① 学力と創造性を伸ばす教育の推進

施策（2）豊かな心を育む教育の充実

- 項目① 豊かな人間性の育成とよい人間関係づくり
- ② 生徒指導の充実
- ③ 郷土教育の推進
- ④ 社会の変化に対応した多様な教育の推進

施策（3）健康・安全教育の推進

- 項目① 健康・安全教育の充実
- ② 学校給食の充実

施策（4）幼児教育・特別支援教育等の充実

- 項目① 幼児教育の支援と連携
- ② 特別支援教育の充実
- ③ 高等学校教育への要請

施策（５）教育環境の整備・充実

- 項目① 学習環境の充実
- ② 学校施設整備の推進

分野３ 社会教育の充実

施策（１）教育振興運動を基盤とした教育力の向上

- 項目① 教育振興運動の推進
- ② 体験的・交流的活動の提供
- ③ 社会教育施設を拠点とした市民が行う学習活動の支援
- ④ 指導体制の充実

施策（２）社会教育施設的环境整備

- 項目① 公民館の整備
- ② 図書館の整備

分野４ 芸術文化の振興

施策（１）芸術文化の振興

- 項目① 芸術文化団体・郷土芸能保存団体への活動支援
- ② 芸術鑑賞等文化事業の充実
- ③ 文化施設の整備・充実

施策（２）文化財の保護と活用

- 項目① 天台寺本堂・仁王門保存修理事業の促進
- ② 史跡九戸城跡の保護と活用
- ③ その他文化財の保護と活用

施策（３）郷土への誇りと愛着を深める地域文化の継承

- 項目① 歴史民俗資料の収集と研究の推進
- ② 歴史民俗資料館整備方針の検討
- ③ 市史編さん事業の推進

分野５ スポーツの推進

施策（１）ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- 項目① 生涯にわたるスポーツの推進
- ② 地域のスポーツ環境の整備
- ③ スポーツを通じた健康づくりの推進
- ④ スポーツ施設の整備・充実

施策（２）競技力向上に向けた選手の育成と指導者の養成

- 項目① 選手の育成・強化と競技力の向上
- ② トップアスリートにふれる機会の創出
- ③ スポーツ指導者等の養成・研修

3 事業の点検・評価

分野1 生涯学習の充実

施策 (1) 広がりや深まりのある生涯学習の推進			
項目 ①多様なメディアを活用した生涯学習情報の発信			
事業名	目的	平成30年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
生涯学習の普及啓発 【生涯学習課】	市民が積極的に生涯学習に取り組めるよう、情報収集・提供し普及啓発し実践につなげる	[継続] ・ 広報にのへやホームページ、コミュニティFMを活用した情報提供 ・ 生活に必要な知識や技能の習得、教養を身につけたりする学習機会の提供 高齢者のための講演会 120人 パソコン教室ワード講座 延べ17人 読み聞かせ講座 親子283人	◎評価 【 B 】 広報にのへやホームページ、コミュニティFMを活用した情報提供を行うとともに、講座等の開催により実践的な学びを深めることにつながった。 【今後の方向性等】 情報提供の機会としてホームページやラジオFMの活用を推進する。内容の充実を図り市民の積極的な学習意欲の醸成に努める。
項目 ②市民の「学び直し」など生涯学習活動の支援			
事業名	目的	平成30年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
放送大学岩手学習センター二戸校の周知・環境整備 【生涯学習課】	放送大学岩手学習センター二戸校の周知や利用環境の整備を図り、市民が気軽に立ち寄ることのできる学習拠点として活用されることを目指す	[継続] ・ 広報にのへによる入学生募集や大学説明会の案内を2回掲載した他、ホームページやコミュニティFMにより周知 ・ 配架科目における外国語教科の充実 【数値目標】 二戸校利用者数(人) H28：延べ 60 H32：延べ 80	◎評価 【 B 】 延べ利用者数は29年度より減少したものの、数値目標を概ね達成することができた。 【今後の方向性等】 学び直しへの意識啓発、周知・啓発を継続し認知度の向上に努めるとともに、多様な科目を配架し利用者の関心を高めるよう努める。 【数値目標の実績】 二戸校利用者数(人) H30：延べ 71 (対H28目標 118%) (対H32目標 88%)
項目 ③学習成果の活用			
事業名	目的	平成30年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
ホームページ等による指導者情報の提供 【生涯学習課】	市民の社会貢献意欲を後押しするため、社会教育活動で学んだ成果や、自らが社会で学んできた知識・経験を生かすことができる仕組みを構築する	[継続] ・ 広報やホームページ等で社会教育活動団体等の紹介が行われる機会はあったが、仕組みづくりまでには至っていない。	◎評価 【 C 】 社会教育団体の活動紹介や成果の公開は行ったが、指導者情報の提供や、社会活動で学んだ成果を生かすことができる仕組みづくりには至らなかった。 【今後の方向性等】 社会教育団体等の活動と市民とのニーズをつなぐ仕組みづくりを目指す。

分野2 学校教育の充実

施策 (1) 学力向上対策の推進			
項目 ①学力と創造性を伸ばす教育の推進			
事業名	目的	平成30年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
学力向上推進事業 (東京学芸大学連携事業を含む)	授業力向上のための教員研修と学力向上のための授業実践の充実に努め、児童生徒の学力向上を図る	<p>1 派遣研修 [継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上先進地視察研修(小学校教諭8人、中学校教諭4人派遣) ・理科長期研修(小学校教諭1人派遣) ・短期研修(小学校教諭1人、中学校教諭2人派遣) <p>2 授業力向上研修 [継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数科授業力向上研修(7月6日石切所小学校第5学年)参加者25人 ・数学科授業力向上研修(8月27日福岡中学校第1学年)参加者24人 ・学力向上講演会(1月10日福岡中学校)参加者145人 <p>3 学力向上推進実践校指定[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石切所小学校へ学習支援員を1名配置し、主に算数科の授業で複数による指導を展開した。 <p>4 学力向上推進監訪問・学力向上ヒアリング [継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上推進監訪問は6月と11月の年2回実施 ・学力向上ヒアリングは平成31年1月9日～11日に実施 <p>5 調査・研究「小中高連携による英語授業づくり」[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校英語の教科化へ向け、「HUKUOKA CAN-DOリスト」の活用について、授業の構想と提案授業を通して、教員の英語科の授業力向上に取り組んだ。 <p>6 公開講座 [継続]</p> <p>教員の研修ニーズに応えるため、講座1「複式における国語科の指導」講座2「発達障がい理解と対応」講座3「言語習得の過程に沿った授業展開」の3講座を開設した。</p> <p>【数値目標】</p> <p>1 全国学調算数・数学B正答率 H28 小6：100 H32 小6：101 中3：100 中3：101</p> <p>2 県学調国語正答率 H28 小5：100 H32 小5：101 中1：100 中1：101 中2：100 中2：101</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>1 算数・数学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数は全国学調のA問題B問題ともに全国平均を下回った。しかし、県学調では県平均を大きく上回っており、全国や県平均並の結果を維持している。 ・数学は県学調で県平均を上回る状況が続いていたが、30年度は下回った。また、全国学調のA問題B問題ともに全国を下回った。無解答の割合は大きく低下している。授業改善に向けた取組の成果が表れ始めている。 <p>2 国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の平均正答率は、全国学調ではA問題B問題ともに全国平均並以上だった。県学調では県平均を大きく上回っており、授業改善の成果が表れてきている。 ・中学校も全国学調ではA問題B問題ともに全国平均並だった。県学調ではわずかに県を下回った。新入生学調(中1)も県平均を若干下回る結果となったが、概ね現状を維持している。 <p>3 他教科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県学調では概ね県平均並以上の結果となり、現状を維持している。 <p>【今後の方向性等】</p> <p>現在の学力の状態を維持するために、これまでの取組を継続する。</p> <p>中学1年生を対象に4月に実施する新入生学調の結果が芳しくない。連続性を持たせた指導、これまでに身に付けてきた力をうまく引き出す指導等を展開するために、小中連携を中心に据えた授業改善の取組を展開していく。</p> <p>【数値目標の実績】</p> <p>1 全国学調算数・数学B正答率 H30 小6：97 (対H28目標 97%) (対H32目標 96%) 中3：94 (対H28目標 94%) (対H32目標 93%)</p> <p>2 県学調国語正答率 H30 小5：109 (対H28目標 109%) (対H32目標 108%) 中1：97 (対H28目標 97%) (対H32目標 96%) 中2：97 (対H28目標 97%) (対H32目標 96%)</p>
【教育企画課】			

施策 (2) 豊かな心を育む教育の充実			
項目 ①豊かな人間性の育成とよい人間関係づくり			
事業名	目的	平成30年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
道徳教育の充実 【教育企画課】	道徳教育について教員の指導力の向上を図り、他人を思いやり良好な人間関係を築くことができる子どもを育てる	[継続] ・道徳授業パワーアップセミナー（中学校教諭2名派遣） ・道徳授業パワーアップセミナー研修（9月3日浄法寺中学校第2学年）参加者32人	◎評価 【 A 】 道徳授業パワーアップセミナーへの派遣により、道徳の評価の実際について理解を深めた。また、道徳授業パワーアップセミナー研修会では、中央講師による授業の参観を通して指導力向上に努め、授業実践に生かされつつある。 [今後の方向性等] 教科として実施される小学校の道徳について各校の授業改善の取組を支援していく。
教育相談の充実 【教育企画課】	教育相談・支援体制を充実し、子どもたちが安心して学習し、学校生活を送ることができることを目指す	[継続] ・教育相談員学校訪問（定期）2回 ・相談件数 15件 ・各校に適応指導教室のチラシを配布し、適応指導教室「おあしす」の周知を図った。	◎評価 【 A 】 欠席がちな児童生徒やその担任、保護者からの相談に対応したことで、不登校が長期化するのを防ぐことができた。 [今後の方向性等] 学校との連携を図り、情報共有に努め、教育相談を通して、不適応児童生徒の不安や悩みを解消していく。
項目 ②生徒指導の充実			
事業名	目的	平成30年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
不登校児童生徒へのきめ細やかな指導 【教育企画課】	一人ひとりに寄り添った相談・支援体制の充実を図る	[継続] ・子育て支援課や児童相談所との情報共有 ・不適応状況報告をもとにした学校の対応への指導・助言 ・不登校児童生徒を抱える学校への訪問 ・適応指導教室「おあしす」での支援（1人通室） ・不登校児童生徒数（H30） 小：5人、中：12人 【数値目標】 不登校児童生徒の割合（%） 小 H28：0.26 H32：0.19 中 H28：2.20 H32：1.80	◎評価 【 B 】 適応指導教室での学習支援とカウンセリングにより、学習の遅れに対する不安や、抱える課題に応じた対応を行い、1名の生徒を登校に結びつけることができた。 また、各学校で行われる適応支援会議において、他市町村の不登校対応を参考にしながら、各学校の取組の在り方について助言を行うことができた。 [今後の方向性等] 引き続き学校サポートチームを適応支援会議に派遣し、児童生徒のわずかな変化を見逃さない体制づくりを支援していく。 【数値目標の実績】 不登校児童生徒の割合（%） 小 H30：0.43（対H28目標 35%） （対H32目標 26%） 中 H30：1.88（対H28目標 115%） （対H32目標 96%）
いじめ問題に対する確実な取組 【教育企画課】	未然防止・早期発見、早期の組織的な対応の取組を継続する	[継続] ・学校生活アンケートの実施（6月） ・校長会議での早期対応の助言 ・教員やスクールカウンセラー等による各学期1回以上の教育相談の実施	◎評価 【 A 】 市内の児童生徒のいじめの実態を把握することができた。各学校でいじめ防止基本方針の見直しを行ったり、いじめに関する校内研修を行ったりすることで、「いじめ」の定義や対応についての理解が浸透することにつながった。 [今後の方向性等] いじめの認知や学校の対応についての校内研修を実施することで、各学校の組織的対応力を高めていく。
各関係機関との情報共有体制の構築及び連携の充実 【教育企画課】	関係機関と連携し、児童生徒や家庭、学校への支援の充実に努める	[継続] ・いじめ防止対策委員会の実施（11月）	◎評価 【 A 】 「学校生活アンケート」結果を基に、市内の児童生徒のいじめの状況を関係機関で共有するとともに、重大事態発生時の対応を確認することができた。 [今後の方向性等] 関係機関と連携を図りながら、いじめの早期発見や早期対応に努めていく。

③郷土教育の推進				
項目	事業名	目的	平成30年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
	郷土教育の推進	二戸市の先人、自然、歴史・文化等の学習を通し、郷土に対する理解を深め、愛着心や誇りを育てるとともに、次代を担う人材の育成を目指す	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 副読本「二戸市の先人たち」の活用促進 副読本「二戸市の先人たち」の6年生への配付と活用事例の紹介 地域学習の推進 地域素材を活用した教科学習の推進と、それに関わる情報提供 	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>学習発表会や授業など、地域素材を活用した実践について、各校に紹介することができた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>副読本「二戸市の先人」については、6年生全員が一度は内容全てを読んだことがある、という状況にすることを目標に取り組を進める。</p>
	小学校副読本の充実及び活用		<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 副読本「わたしたちの二戸市」の活用促進 資料を活用する力の育成と地域への関心を高めるために、副読本の活用促進を図った。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>小学校3・4年生の社会科授業の副読本として、二戸市の地形、農業・商業・工業、公共施設等について、学習での活用を進めることができた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>令和2年度の社会科副読本「わたしたちの二戸市」改定に向けての準備を進める。</p> <p>授業での活用を促すために、副読本活用事例の紹介を行う。</p>
④社会の変化に対応した多様な教育の推進				
項目	事業名	目的	平成30年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
	国際理解教育の推進	異なる文化や伝統を理解し、国際社会の発展に貢献できる児童生徒を育成する	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 中高生海外派遣研修事業 中学生10人と高校生4人を加えた14人を海外に派遣し、国際感覚豊かな人材の育成を図った。 参加者：中学2年生10人、高校生4人 日程：H31.1.4～11 場所：イギリス・グラスゴー 中学生異文化交流研修事業 中学生と岩手大学の外国人留学生との交流を通じて、異文化の理解を深めた。 参加者：中学生18人 日程：H30.6.23～24 場所：国立岩手県青少年交流の家 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>イギリスでのホームステイや愛橋博士の功績についての学び、そして岩手大学の留学生との交流などを予定どおり実施し、グローバルな視野を身に付ける機会を持たせることができた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>研修生や引率者の感想や意見を踏まえながら、研修内容を見直し、充実を図る。</p>
	キャリア教育の推進	子ども一人ひとりが主体的に自己の進路を選択、決定できる能力やしっかりとした勤労観・職業観を身に付け、社会の一員として自立する力を養う	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各校のキャリア教育全体計画の提出と全体計画の見直しの支援 体験的な学習の充実に向けた支援 	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>各校のキャリア教育の実施状況を把握し、事前事後の研修の充実を図るよう助言した。</p> <p>国の求める職場体験3日以上の実施は、限られた受け入れ先の負担などを考慮すると難しいところであるが、全ての中学校で職場体験2日以上、事後指導を5時間以上実施するなど、県の目標は達成し、体験的な学習の質的向上を図ることができた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>今後も、中学校の職場体験2日以上と、事後指導5時間以上の確実な実施に向けた働きかけに努める。</p>

施策 (4) 幼児教育・特別支援教育等の充実			
項目		①幼児教育の支援と連携	
事業名	目的	平成30年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
幼児教育への支援 【教育企画課】	関係部局との連携を図り、幼児及びその保護者に対する相談や支援を充実する	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5歳児発達相談への職員派遣 5歳児発達相談へ毎回職員を派遣し、保護者向けの幼児教育に関する講座を担当した。 	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>職員の講話により、子どもへの関わり方についての理解が深まっただけでなく、保護者としての自覚を促すことにもつながった。 しかし、5歳児発達相談以外で支援や働きかけを行うことが十分でなかった。</p> <p>[今後の方向性等] 認定こども園等で開催される保護者学習会等への講師派遣を行う。</p>
幼保小連携の推進 【教育企画課】	小学校生活へ円滑に適應できるよう、情報共有と相互理解が図られる体制を構築する	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼保小連携推進会議の開催 幼保小連携の在り方についての協議と幼児連絡票の様式の吟味を行った。 ・幼保小連携研修会の開催 市内の小学校と保育所・認定こども園等から各1名参加し、中央小学校の授業を参観し協議を行った。その後、情報交換会を行った。 ・幼児連絡表の活用 幼児連絡表を就学時検診に活用した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>連携推進会議では、隔年で小学校と保育所・こども園等の授業を見合うという道筋を示すことができた。幼児連絡表は、一目で幼児の情報が分かるように改定し、スムーズな連携につながった。</p> <p>[今後の方向性等] 実際の授業や活動場面の参観を通して「学びの進め方の違い」についての理解を更に深める、スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムの編成につなげる。</p>
項目		②特別支援教育の充実	
事業名	目的	平成30年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
特別支援教育の充実 【教育企画課】	児童生徒の状況に応じた学習環境の整備やきめ細やかな支援の在り方の検討を通して、支援の充実を図る	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育支援委員会の開催 特別な支援を要する児童生徒一人ひとりについて、望ましい学習環境や支援のあり方を検討するために年3回開催した。(対象者109人) ・個別支援ファイルの作成と活用 特別な支援を要する就学予定児、児童生徒を対象に、個別支援ファイルを作成し、支援計画の立案や引継ぎ資料として活用を行った。 ・専門委員の認定こども園等・学校への派遣 教育支援委員会の専門委員を要請のあった認定こども園等や学校に派遣し、必要な支援等についてのアドバイスを行った。(1園3小学校へ派遣) 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>就学予定児に対して、関係機関や専門委員との連携により、早い時期からの相談を実施したことで、望ましい就学先を決定することができた。 個別支援ファイルを活用しながら進学先等に対する引継ぎを行ったことで、望ましい対応の継続につながった。 専門委員のアドバイスによって、認定こども園等や学校での支援が充実した。</p> <p>[今後の方向性等] 児童生徒一人ひとりの状況に応じた適切な支援を実施するためにこれまでの取組を継続する。</p>
特別支援教育支援員の配置 【教育企画課】	特別な支援を要する児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、支援員を配置し、支援の充実を図る	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員の学校への配置 特別支援教育支援員14人を、小学校5校、中学校2校に配置し、特別な支援を要する児童生徒に対し、きめ細やかな支援を行った。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>特別な支援を要する児童生徒への支援の充実だけでなく、学級全体の円滑な運営にも貢献することができた。</p> <p>[今後の方向性等] 適切な支援の実施と円滑な学級運営のためにも、これまでの取組の継続と適切な配置に取り組む。</p>

分野2 学校教育の充実

事業名	目的	平成30年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
特別支援学校開設の要望 【教育企画課】	望ましい教育環境を整えるために、小中高一貫の独立した支援学校の設置を目指す	[継続] ・特別支援学校設置の要望 県知事及び県教育委員会に対して、分教室の現状を基にしながら、独立した支援学校の設置を要望した。 (分教室在籍児童生徒数 小学部24人、中学部7人、高等部18人)	◎評価 【 B 】 県に対して独立校の必要性を訴え、一定の理解を得ることができた。 [今後の方向性等] 引き続き県に対して独立校の設置を要望していく。
項目	③高等学校教育への要請		
事業名	目的	平成30年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
高等学校教育の充実と環境整備の要請 【教育企画課】	中学校を卒業した児童生徒が能力や個性を伸ばせるよう、高等学校教育の充実と環境整備を推進する	[継続] ・生徒数の減少に伴い、県立高校の再編が進められているが、生徒の多様化する希望へ応えられるよう、高等学校教育の充実と環境整備について、県教育委員会に要請した。	◎評価 【 B 】 高等学校の維持と充実につながるよう県に要請し、要望を伝えることができた。 [今後の方向性等] 県などの関係当局へ継続的に働きかけていく。

分野2 学校教育の充実

施策 (5) 教育環境の整備・充実			
項目 ①学習環境の充実			
事業名	目的	平成30年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
就学援助 【教育企画課】	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費等の各種経費の一部を補助することで、保護者の経済的負担を軽減するとともに、教育の機会均等を確保する	[継続] ・要保護及び準要保護児童生徒(248人)の保護者に対して就学に必要な経費の一部を援助した。 ・年間を通して申請を受け、必要ときに援助を受けられる環境づくりに努めた。 ・31年度新入学児童生徒への学用品費の入学前支給を実施した。 ・国の制度改正に伴う新たな支給費目の追加等について規定等の整備を行った。	◎評価 【 A 】 援助が必要と認められる児童生徒の保護者に対し適切に援助を行い、経済的負担軽減と教育の機会均等の確保につながった。 [今後の方向性等] 学校と連携し保護者へ制度内容の周知を図りながら、適切に支援を行っていく。
育英資金貸与事業 【教育企画課】	経済的理由により修学が困難な者に対して、修学の機会を確保し、人材を育成する	[継続] ・高校等10人、大学等50人、計60人に貸与した。(うち、30年度新規貸与生は高校等1人、大学等11人の計12人) ・地元就職者に対する返還免除は5人であった。 ・貸付返還金の収納率は前年度比0.83ポイント減の75.94%であったが、滞納者数は、29年度末の45人に対し、30年度末は41人と4人減少しており、滞納の解消に努めた。	◎評価 【 B 】 貸与希望者は減少傾向にあるが、貸与事業を円滑に実施し、修学の機会確保に努めた。また、29年度より創設した返還免除等は利用者も増え、定住促進に寄与した。貸付返還金の収納率は前年度比で減少したが、滞納者数は減っており、滞納の解消に向けて着実に取り組みを進めることができた。 [今後の方向性等] 貸与希望者に対する円滑な貸与の実施を行うとともに、返還金の滞納者に対し納付に向けた働きかけを行っていく。

事業名	目的	平成30年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
遠距離通学者への支援の充実 【教育企画課】	遠隔地から通学する児童生徒の保護者に対し、通学費の一部を補助することで、経済的負担の軽減を図る	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 遠距離通学費補助事業 通学距離が小学校においては片道4km、中学校においては片道6km以上の児童生徒で公共交通機関を利用して通学している者の保護者に対して、通学にかかる経費の1/2を補助した。 学校統合条件による補助を行った。 スクールバス運行事業 児童生徒を輸送する通学バス・タクシーの運行を委託し、遠距離通学児童生徒の通学手段の確保と、保護者の経済的負担の軽減を図った。中学校統合により御返地地区のスクールバスを購入した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>遠距離通学や学校統合条件の児童生徒の保護者に対し必要な支援を行い、負担軽減へとつながった。</p> <p>[今後の方向性等] 今後も継続して、通学費補助及びスクールバスの運行を行う。また、老朽化したスクールバスの更新を随時行う。</p>
図書に親しむまち推進事業 【教育企画課】	幼児期から本に親しむ機会や環境を整えることで、読書意欲の向上及び読書習慣の定着を図る	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒への図書の贈呈 市内全小中学生に、希望の図書を贈呈した。 小1, 194冊、中646冊、計1, 840冊 学校図書館支援員の配置 図書館支援員3人により各小中学校の巡回訪問を行い、蔵書の管理、図書室の環境整備の支援等を実施した。 <p>【数値目標】 学校図書館標準冊数達成校(校) 小 H28 : 7 H32 : 8 中 H28 : 4 H32 : 4</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>全ての児童生徒へ図書贈呈を行うとともに、学校図書館支援員の配置により学校図書室の環境を整備した。また、学校図書館標準冊数達成校については、数値目標を達成し、読書意欲の向上や読書習慣の定着につながった。</p> <p>[今後の方向性等] 図書の贈呈をきっかけに、読書習慣の定着につながるよう、図書の種類や支援の内容を工夫しながら、継続的に事業を推進する。</p> <p>【数値目標の実績】 学校図書館標準冊数達成校(校) 小 H30 : 8 (対H28目標 114%) (対H32目標 100%) 中 H30 : 4 (対目標 100%)</p>
ICT(情報通信技術)機器の整備、情報教育の推進 【教育企画課】	社会の情報化の進展に対応した情報教育の推進	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育用コンピュータ整備事業 情報化社会に即した教育を推進するため、市内小中学校のコンピュータ周辺機器を更新した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>小中学校のコンピュータ周辺機器を予定どおり更新し、教育環境の向上へとつながった。</p> <p>[今後の方向性等] 計画的にコンピュータ教室用機器の更新を行うとともに、情報教育推進のためICT機器の導入について検討を進める。</p>
小中学校の適正配置に向けた取組 【教育企画課】	二戸市立小中学校適正配置基本方針に基づき、適正な配置を目指す	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 29年度に引き続き統合に向けた調整、協議を進め、9月5日に「御返地中学校統合協定調印式」を行った。 3月23日には御返地中学校閉校記念式典を行い、3月31日をもって閉校となった。 閉校記念誌作成及び制服購入経費に対し補助を行った。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>統合検討委員会との協定に基づき、御返地地区の生徒が円滑に新たな学校生活を迎えられるよう必要な支援・調整を行い、無事に統合を迎えることができた。</p> <p>[今後の方向性等] 次期二戸市立小中学校適正配置基本方針の策定に向けた準備を進める。</p>

②学校施設整備の推進				
項目	事業名	目的	平成30年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
	小中学校リフレッシュ事業	施設の安全確保と長寿命化を図る	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の安全確保と長寿命化を図るため、次の工事を実施した。 <p>金田一小学校トイレ改修工事 金田一小学校外構工事 仁左平小学校消防設備改修工事 金田一中学校トイレ改修工事</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>計画どおりに改修工事等を実施し、児童生徒の安全かつ快適な学習環境を確保することができた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>今後も継続的に予算を確保しながら、計画的な改修に努める。また、児童生徒の熱中症予防、学習環境の確保のため冷房設備設置事業を進める。</p>
	【教育企画課】			

分野3 社会教育の充実

施策 (1) 教育振興運動を基盤とした教育力の向上			
項目 ①教育振興運動の推進			
事業名	目的	平成30年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
各学校における家庭教育学級の開催 (地域学校協働推進事業) 【生涯学習課】	家庭・学校・地域の連携を深め、家庭・地域の教育力向上に努める	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 全実践区(全小中学校)において家庭教育に関する幅広い内容で「家庭教育学級」を開催した。 <p>【数値目標】 家庭教育学級開催数(回) H28: 46 H32: 48</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>各実践区(各学校)が主体となって家庭教育に活かせる様々な学びの機会の提供に努め、教育力の向上につなげることができた。</p> <p>[今後の方向性等] 今後も各実践区と連携しながら学びの機会を提供していく。</p> <p>【数値目標の実績】 家庭教育学級開催数(回) H30: 延べ55回 (対H28目標 119%) (対H32目標 114%)</p>
教育振興運動集約集会の開催 (地域学校協働推進事業) 【生涯学習課】	地域の教育課題や解決方法について共通理解を図り、教育振興運動の基本理念と運動の進め方について理解を深める	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 実践区の活動状況の発表、意見交流、教育振興運動の基本理念や全県共通課題の取り組みについての説明、情報メディアやモラルをテーマとした講演を実施した。市PTA研究大会との合同開催は5年目となった。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>実践区の活動成果や課題の共有、教育振興運動推進の意識の高揚に努めた。情報メディアに関する講演により家庭での実践につながる学びの機会を提供した。PTA研究大会との合同開催により関係者との連携が深まり、情報交換や課題の共有にもつながった。</p> <p>[今後の方向性等] 子どもを中心に家庭・学校・地域等が連携を深め子どもの育つよりよい環境づくりに努めていく。</p>
「家庭教育の手引き」の発刊 (地域学校協働推進事業) 【生涯学習課】	家庭での学習の取り組み方や望ましい生活習慣の身につけさせ方について啓発を図る	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校1年生から中学校3年生までの子どもの発達段階に応じた家庭での家庭学習、生活、読書など学習環境づくりを具体的に紹介している手引きで、市内の全児童生徒の保護者に配布している。 教育委員会ホームページへの掲載 「家庭教育の手引き」編集会議開催及び編集作業 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>ホームページに掲載し活用しやすい環境を整えている。学習指導要領の改訂に伴う見直しを行い、学習指導等に対応し家庭での活用に適した内容づくりに努めた。</p> <p>[今後の方向性等] 家庭教育での活用につながる内容づくりや情報提供に努めていく。 学習指導要領の改訂に対応するため、編集作業に取り組む。</p>

事業名	目的	平成30年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
にのへ土曜 チャレンジ 塾事業	中学生1～2年生を対象に、郷土の歴史、文化等にふれ、楽しく体を動かすなどの機会を提供し、土曜日の教育環境充実を図る	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生1～2年生を対象に3回実施した。(1回目9/29、2回目11/3、3回目12/1) ・参加者延べ人数：720人 ・対象生徒数：415人 ・参加実人数：392人 <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容：15メニュー 1 槻蔭舎きぼう塾(第3回) 2 槻蔭舎きぼう塾(第4回) 3 ニュースポーツ体験(二戸体育館) 全3回実施、延べ76人参加 4 ニュースポーツ体験(浄法寺体育館) 全2回実施、延べ46人参加 5 読書(市立図書館) 全2回実施、延べ68人参加 6 読書(浄法寺かほろセンター) 全3回実施、延べ66人参加 7 九戸城跡散策 全2回実施、延べ74人参加 8 自学自習(市役所) 全3回実施、延べ154人参加 9 ジュニア料理教室(郷土の食の宝) 9/29実施、41人参加 10 ジュニア料理教室(朝食の大切さ) 11/3実施、17人参加 11 ジュニア料理教室(スポーツ栄養) 12/1実施、22人参加 12 フラダンス体験 全2回実施、5人参加 13 手話体験 11/3実施、14人参加 14 企業訪問 12/1実施、生徒8人・保護者1人参加 15 文化祭鑑賞 11/3実施、87人参加 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>各団体から協力を得て、多くのメニューで実施することができた。 学校の枠を越えた交流や、地域の素晴らしさを知る学習など、土曜日を活用した有意義な学びを提供することができた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>内容の見直しを図りながら、地域の団体と連携し、生徒が新たな体験や楽しい学びに取り組める機会の提供に努める。</p>
放課後子ども教室の開催(地域学校協働推進事業)	地域の施設、人材などを活用し子どもたちが安心して活動できる場を確保し日常の中で多くの人と関わり体験的・交流的活動を行う機会を提供する	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内6カ所で延べ948日開設、延べ14,585人が利用した。 ・中央小学校の「みなわ子ども教室」は、学校敷地内に新築移転した中央児童クラブ内で児童クラブとの一体型として実施した。 ・夏休みと冬休み期間の2回、全利用者を対象にバスツアーを実施した。 ・芸術文化及びスポーツを体験する機会を提供した。 ・指導者を対象に研修会を1回開催した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>子どもたちが安全で自主的な活動ができる居場所として地域の方々や学校と連携しながら開設、運営し、日常的に学年等を越えた交流や学習・創作活動、芸術文化・スポーツ体験の機会を提供することができた。 抽出アンケートで、利用児童が教室に満足している割合は「とても楽しい」71.9%、「まあまあ楽しい」25.8%であり、子どもが安心して活動できる場が構築できていることを確認できた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>地域や学校と連携しながら地域人材を活用し幅広い体験・交流活動機会を提供していく。</p>
	【教育企画課】		
	【生涯学習課】		

③社会教育施設を拠点とした市民が行う学習活動の支援													
項目	事業名	目的	平成30年度の実績										
	多様な学習ニーズにこたえる講座の開催	市民の生涯学習活動拠点として、市民の学習ニーズ、ライフステージに応じた講座など学習機会を提供する	<p>〔 継続 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報にのへによる年間事業予定の周知 ・ 広報、ポスター、チラシ等による講座や教室の周知 ・ 各年代（少年、一般、高齢者）に応じた講座や教室の実施 ・ 文化祭の実施・各種サークルへの支援 <p>【数値目標】</p> 市立公民館講座実施回数(回) H28：207 H32：207										
	社会教育団体の支援	次世代の育成や地域課題に取り組む社会教育団体へ支援を行い、地域の社会教育活動の推進につなげる	<p>〔 継続 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続して活動を支援している5団体に対する補助金の交付 <table border="0"> <tr><td>二戸市PTA連合会</td><td>72千円</td></tr> <tr><td>二戸市ユネスコ協会</td><td>45千円</td></tr> <tr><td>浄法寺ユネスコ協会</td><td>45千円</td></tr> <tr><td>ボーイスカウト二戸第1団</td><td>45千円</td></tr> <tr><td>ガールスカウト岩手県第13団</td><td>45千円</td></tr> </table> ・ 活動に対する相談等への対応 	二戸市PTA連合会	72千円	二戸市ユネスコ協会	45千円	浄法寺ユネスコ協会	45千円	ボーイスカウト二戸第1団	45千円	ガールスカウト岩手県第13団	45千円
二戸市PTA連合会	72千円												
二戸市ユネスコ協会	45千円												
浄法寺ユネスコ協会	45千円												
ボーイスカウト二戸第1団	45千円												
ガールスカウト岩手県第13団	45千円												
	図書に親しむまち推進事業	幼児期から本に親しむ習慣を培い理解力を育めるよう児童図書の充実と読書を推進していく	<p>〔 継続 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ブックスタート（10カ月児） 乳児145人に絵本を贈呈し、読みきかせを実施した。（全10回） ・ おはなしデビュー（3歳児） 幼児161人に絵本を贈呈した。（全10回） <p>【数値目標】</p> 図書貸出冊数（冊） <ul style="list-style-type: none"> ・ 市立図書館 H28：91,800 H32：92,000 ・ カシオペアセンター図書室 H28：6,450 H32：6,500 										
	生涯学習課		<p>◎評価 【 B 】</p> <p>市民の学習ニーズの把握に努め、講座を実施したが、実施回数は数値目標にわずかに達しなかった。しかし、参加者の希望に応え、休日に開講するなど参加しやすい環境に配慮した結果、講座参加者数を増やすことができた。</p> <p>【今後の方向性等】</p> 引き続き学習ニーズの把握に努めるとともに現代的課題の講座実施や休日開催を増やし、市民が受講し易い環境を整備する。 <p>【数値目標の実績】</p> 市立公民館講座実施回数(回) H30：202（対目標 98%）										
	生涯学習課		<p>◎評価 【 A 】</p> <p>社会教育活動が促進されるよう団体活動等への支援に努めた。</p> <p>【今後の方向性等】</p> 社会教育団体の活動状況把握に努めるとともに、継続して支援を行う。										
	図書館		<p>◎評価 【 B 】</p> <p>図書館ボランティアによる読み聞かせや絵本の贈呈を実施し、読書に親しむ機会を提供することができた。</p> <p>図書貸出状況は、市立図書館、カシオペアセンター共に前年度より貸出冊数が増加したものの、カシオペアセンターは数値目標に達することができなかった。</p> <p>【今後の方向性等】</p> 絵本の贈呈をきっかけに、親子で本に親しむ機会を提供したり、フォローアップ事業の企画や広報活動により貸出増加につながるよう努める。 <p>【数値目標の実績】</p> 図書貸出冊数（冊） <ul style="list-style-type: none"> ・ 市立図書館 H30：95,108（対H28目標 103%） （対H32目標 103%） ・ カシオペアセンター図書室 H30：5,280（対H28目標 81%） （対H32目標 81%） 										
④指導体制の充実													
項目	事業名	目的	平成30年度の実績										
	専門職員の配置	相談等に対し適正な指導・助言ができるよう専門職員を配置し、指導体制を強化する	<p>〔 継続 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続して社会教育主事や社会教育指導員を配置し、指導助言を行った。 										
	生涯学習課		<p>◎評価 【 A 】</p> <p>関係機関と連携し専門職員による適切な助言、指導に努めた。また、県主催の研修会等に参加し専門職員の資質向上に努めた。</p> <p>【今後の方向性等】</p> 社会教育行政に関わる職員、配置が義務づけられている社会教育主事の養成に努める。										

分野3 社会教育の充実

事業名	目的	平成30年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
各種研修や大会等への社会教育関係者の参加 【生涯学習課】	社会教育事業を推進するため、社会教育行政に関わる職員等の計画的な養成、関係者の資質向上に努める	[継続] ・ 県立生涯学習推進センターの研修を中心に県や県北教育事務所など各種研修会等へ学校関係者、社会教育・家庭教育関係者、職員等が参加した。 【数値目標】 県立生涯学習推進センター研修参加者数(人) H28 : 34 H32 : 36	◎評価 【 B 】 数値目標は達成しなかったが、県立生涯学習推進センターのほか、県北教育事務所や県社会教育連絡協議会等関係機関の研修会や大会等に参加し知識の習得や資質向上に努めた。 【今後の方向性等】 社会情勢の変化や地域課題解決に向けて幅広い知識、資質向上が求められており日頃から学びを深めるとともに広く関係者への参加を促す。 【数値目標の実績】 県立生涯学習推進センター研修参加者数(人) H30 : 28 (対H28目標 82%) (対H32目標 77%)

分野3 社会教育の充実

施策 (2) 社会教育施設的环境整備			
項目		① 公民館の整備	
事業名	目的	平成30年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
中央公民館整備の方向性の検討 【中央公民館】	老朽化の進んだ中央公民館のあり方、整備の方向性を検討する	[継続] ・ 文教施設指定管理等検討委員会を開催し、検討を行った。個別施設計画に沿い、建替えや施設の集約化・複合化について慎重に検討を進めた。	◎評価 【 C 】 内部協議にとどまり具体的な方向性につながる検討に至らなかった。 【今後の方向性等】 個別施設計画に沿い建替えや施設の集約化・複合化について慎重に検討を進める。
施設の計画的改修 【各公民館】	各公民館において、計画的な改修を行い適正な施設管理を行う	[継続] ・ 各公民館において施設修繕や設備更新を行った。 金田一コミュニティセンター玄関タイル修繕 中央公民館下斗米分館 受水槽定水位弁取替修繕 中央公民館電気機器修繕 等	◎評価 【 A 】 施設修繕と老朽化した設備の更新を実施した。 【今後の方向性等】 施設利用者の安全を第一とし、要望等も考慮しながら施設修繕、設備更新をして利用しやすい環境整備に努める。移転を含め石切所公民館の整備を検討する。
項目		② 図書館の整備	
事業名	目的	平成30年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
蔵書の充実 【図書館】	市民の多様化するニーズに対応し、一般図書から郷土資料まで収集整備し、生涯学習活動を支える	[継続] ・ 9月下旬に館内蔵書点検を実施 ・ 30年度受入図書3,703冊 ・ 除籍は3,441冊 【数値目標】 蔵書冊数(冊) ・ 市立図書館 H28 : 96,000 H32 : 97,000 ・ カシオペアセンター図書室 H28 : 32,000 H32 : 35,000	◎評価 【 A 】 蔵書点検を実施し適正な管理に努め、29年度より261冊増加し目標値を達成した。郷土資料や図書館に必要な専門書籍のほか、市民から要望の多い書籍や児童書の充実に目標に購入した。 また、新規事業として「えほんパック」の貸出を5月より開始。(0歳から3歳向け18冊と3歳から6歳向け16冊) 絵本の選書に迷われる利用者向けにサービスを提供した。 【今後の方向性等】 数値目標の達成に向け、図書の充実に努める。 【数値目標の実績】 蔵書冊数(冊) ・ 市立図書館 H30 : 96,528 (対H28目標 100%) (対H32目標 99%) ・ カシオペアセンター図書室 H30 : 34,129 (対H28目標 106%) (対H32目標 97%)

分野4 芸術文化の振興

施策 (1) 芸術文化の振興			
項目 ①芸術文化団体・郷土芸能保存団体への活動支援			
事業名	目的	平成30年度の実績状況	評価及び今後の方向性等
芸術文化団体の育成 【生涯学習課】	芸術活動への参加の機会や芸術鑑賞の機会を提供し、芸術文化の振興を図る	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 芸術文化団体への活動補助 <ul style="list-style-type: none"> 二戸市芸術文化協会 90千円 浄法寺芸能協会 30千円 市民文士劇を実施する二戸市民文士劇実行委員会への活動補助 <ul style="list-style-type: none"> 二戸市民文士劇実行委員会 4,000千円 	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>芸術文化団体へ補助金を交付し、市民の自主的な芸術文化活動を支援した。活動する各団体は、各種大会や展示会、公演等で活動の成果を披露し地域の伝統文化を発信するとともに市民が芸術文化に触れる機会を提供することができた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>市民が主体となった芸術文化活動への支援を継続して実施するとともに、体験や発表の機会提供に努める。</p>
文化祭の開催 【生涯学習課】	市民の芸術文化活動の発表の場として、文化祭を開催する	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化祭の開催委託 1,728千円 <ul style="list-style-type: none"> 二戸会場：二戸市芸術文化協会 浄法寺会場：浄法寺地区文化祭実行委員会 <p>【数値目標】 文化祭の入場者数(人) H28：5,000 H32：5,500</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>地域の特性を活かした地域文化の継承や市民が自主的に文化芸術活動に親しむために活動発表や交流する場の提供に努めた。展示部門においてのへ土曜チャレンジ塾との連携により中学生の入場者等が増えた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>若い世代をはじめ幅広い年代の市民が芸術文化に親しみ体験、発表する機会の提供に努める。</p> <p>【数値目標の実績】 文化祭の入場者数(人) H30：5,120 (対H28目標102%) (対H32目標 93%)</p>
郷土芸能保存団体の育成 【文化財課】	郷土芸能団体の技術的な向上と継承、活動の活性化を図る	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 市指定無形民俗文化財（民俗芸能）団体17団体のうち活動をしている12団体に対する、育成補助金の交付 (70,000円×12団体) <ul style="list-style-type: none"> 呑香稻荷神社神代神楽保存会 下斗米山伏神楽保存会 武内神社神楽保存会 坂本七ツ物保存会 金田一神楽保存会 上米沢鹿踊り保存会 深山神社神楽保存会 金田一大神楽保存会 駒ヶ嶺新山神楽保存会 大森大神楽保存会 浄法寺七ツ物保存会 浄法寺鹿踊り保存会 文化財愛護少年団育成補助金を交付 (18,000円×1団体) <ul style="list-style-type: none"> 下斗米文化財愛護少年団育成会 	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>団体の多くが、後継者不足の課題を抱え、財政的にも脆弱であることから、補助金の交付により活動を支援することができた。しかし、後継者不足により団体運営が停滞し、育成補助金交付団体が1団体減少した。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>引き続き、財政的支援を行い、郷土芸能祭の開催支援などと併せて、郷土芸能について市民への周知を図る。</p> <p>また、後継者の確保など各団体で抱える課題について解決策を検討し、団体運営の活性化を支援する。</p>

分野4 芸術文化の振興

事業名	目的	平成30年度の実績状況	評価及び今後の方向性等
二戸市郷土芸能祭の開催支援 【文化財課】	郷土芸能祭の開催を支援し、郷土芸能活動の活性化を図る	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 二戸市郷土芸能祭開催補助金の交付 二戸市郷土芸能保存団体連絡協議会 250,000円 <p>※30年度 二戸地区郷土芸能発表会(九戸村)1団体出演 北緯40° ナニャトヤラ連邦郷土芸能交流祭(久慈市)2団体出演</p> <p>【数値目標】 郷土芸能祭の入場者数(人) H28 : 450 H32 : 500</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>郷土芸能祭や各種イベントでの郷土芸能披露により、郷土芸能活動の活性化と市民の理解を深めることができた。</p> <p>【今後の方向性等】 今後も、郷土芸能祭の開催支援や各種イベント出演情報の提供を行う。</p> <p>【数値目標の実績】 郷土芸能祭の入場者数(人) H30 : 450 (対H28目標 100%) (対H32目標 90%)</p>
項目	②芸術鑑賞等文化事業の充実		
事業名	目的	平成30年度の実績状況	評価及び今後の方向性等
芸術鑑賞事業の実施 【生涯学習課】	優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供するため、舞台や音楽などの鑑賞事業を開催	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 自主文化事業の開催(計18事業) 小・中・高校生を対象とした舞台芸術鑑賞事業(学校鑑賞事業)や一般等を対象とした陸上自衛隊第9音楽隊によるコンサート、さくらコンサート、デュオ・リサイタル、つるし雛展などの鑑賞型・市民参加型事業(一般鑑賞事業) このへカルチャーフェスティバル事業 開催委託料 1,512千円 このへアートギャラリー事業開催委託料 950千円 <p>【数値目標】 開催事業入場者数(人) H28 : 7,900 H32 : 8,000</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>学校鑑賞事業は、質の高い音楽鑑賞や演劇鑑賞を中心に実施した。一般鑑賞事業は、市民が気軽に鑑賞でき、参加しやすい事業を企画し、市民の芸術鑑賞文化への関心が高まるよう工夫した。舞台入場者数の数値目標には達しなかったが、新しい企画を取り入れるなど利用促進に努めた。</p> <p>また、市芸術文化協会に事業を委託し、交流体験活動や鑑賞事業を実施することで、芸術文化の振興を図り、芸術文化に親しむ環境づくりに努めた。</p> <p>【今後の方向性等】 子どもから大人まで、市民が優れた芸術文化を鑑賞する機会や、気軽に芸術文化に親しみ参加できる機会の提供に努める。</p> <p>【数値目標の実績】 開催事業入場者数(人) H30 : 5,870 (対H28目標 74%) (対H32目標 73%)</p>
項目	③文化施設の整備・充実		
事業名	目的	平成30年度の実績状況	評価及び今後の方向性等
市民文化会館リフレッシュ事業 【生涯学習課】	計画的な改修を行い、施設の適正な維持管理に努める	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 大ホールスクリーン改修工事 エアコン設置工事 地下重油タンク改修工事 その他、引込柱高圧気中開閉器取替工事等の修繕を実施した。 <p>【数値目標】 市民文化会館利用者数(人) H28 : 55,000 H32 : 55,000</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>施設管理は適正に行われたが、利用者数は数値目標をやや下回った。</p> <p>【今後の方向性等】 優先順位を精査しながら計画的な施設の改修を進め、利用しやすい環境づくりに努めるとともに、指定管理者や関係機関と連携し、利用促進に向けた工夫に取り組む。</p> <p>【数値目標の実績】 市民文化会館利用者数(人) H30 : 51,861 (対目標 94%)</p>
浄法寺文化交流センター改修事業 【Jホール】	計画的な改修を行い、施設の適正な維持管理に努める	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 舞台音響設備更新工事 <p>【数値目標】 文化交流センター利用者数(人) H28 : 11,000 H32 : 11,000</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>施設管理は、適正に行われたが、利用者数は数値目標をやや下回った。</p> <p>【今後の方向性等】 優先順位を精査しつつ、計画的な施設の改修を進める。</p> <p>【数値目標の実績】 文化交流センター利用者数(人) H30 : 10,229 (対目標 93%)</p>

施策 (2) 文化財の保護と活用			
項目 ①天台寺本堂・仁王門保存修理事業の促進			
事業名	目的	平成30年度の実績状況	評価及び今後の方向性等
天台寺修復事業 【文化財課】	重要文化財である天台寺の本堂・仁王門の解体修理を支援・推進する	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関（国及びその外郭団体、岩手県、天台寺）との協議を行い必要な情報を共有しながら、保存修理委員会を7回開催し、速やかな事業の推進を図った。 円滑な事業推進のため補助金を交付した。 保存修理事業については、計画通り事業が実施された。（事業主体：天台寺） 30年度から事業着手となった防災施設等整備事業については、工事分の入札不調などにより工事契約に至らず遅れが生じた。（事業主体：天台寺） <p>【数値目標】 保存修理事業進捗率(%) H28：49.5 H32：100</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>事務支援、補助金交付などを行い、事業の推進を図ることができた。 しかし、防災施設等整備事業において、30年度に行う予定だった事業が完了せず繰越となった。</p> <p>[今後の方向性等] 令和元年度の完成に向けて、引き続き保存修理を計画的に進めるため、必要な情報収集に努め、事業の推進が図られるよう支援等を行っていく。</p> <p>【数値目標の実績】 保存修理事業進捗率(%) H30：89（対H28目標 180%） （対H32目標 89%）</p>
項目 ②史跡九戸城跡の保護と活用			
事業名	目的	平成30年度の実績状況	評価及び今後の方向性等
史跡九戸城跡土地買上事業 【文化財課】	国史跡九戸城跡指定地を公有化し、保存措置を講ずる	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 29年度繰越分 1筆 (2,295㎡) 及び30年度分 1筆 (257.55㎡) を取得した。 公有化計画総面積 189,620.23㎡に対し、完了面積 181,730.28㎡（総面積に占める割合95.8%） 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>30年度予定していた土地買上について、予定通り完了し、史跡指定地内の公有化が図られた。</p> <p>[今後の方向性等] 今後も、史跡公有化事業を推進していく。 令和元年度 2筆 (274.3㎡) 総面積に占める割合(公有化率) 96.0%</p>
史跡九戸城跡環境整備事業 【文化財課】	国史跡九戸城跡の公園化	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 史跡公園化の実現に向け、文化庁、史跡整備指導委員会の指導のもと、二の丸の発掘調査を実施した。 文化庁、史跡整備指導委員会の指導のもと、第2期整備基本設計を策定した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>史跡九戸城跡の発掘調査や整備基本設計を策定し、史跡公園としての環境整備の推進を図ることができた。</p> <p>[今後の方向性等] 史跡整備指導委員会の指導のもと、計画的に史跡整備を行っていく。</p>
史跡九戸城跡保護活用事業 【文化財課】	国史跡九戸城跡の保護、活用	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備指導委員会の開催 2回 協議内容 第2期整備基本設計 在府小路遺跡の史跡追加指定 発掘調査の状況 九戸城を活かす会への補助金交付 (90,000円) 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>整備指導委員会を開催し、適切な史跡の保護、活用の方向性を確認することができた。 また、九戸城跡に関係する団体への支援を行い、九戸城跡の保護・活用の推進を図ることができた。</p> <p>[今後の方向性等] 引き続き、環境整備事業と併せて適切な保護、活用に努める。</p>

事業名	目的	平成30年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
九戸城情報発信・活用事業 【文化財課】	国史跡九戸城跡の情報発信、活用	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥瞰図の作成及び案内板の更新、パンフレット・リーフレットの増刷など情報発信を行った。 九戸城エントランス広場の維持管理を行った。 <p>[新規]</p> <ul style="list-style-type: none"> 城郭研究の第一人者である奈良大学千田教授を講師としてお招きし、講演会を開催した。来場者410人 埋蔵文化財センター展示室において、史跡調査30年の歩みと題し、企画展を開催した。 <p>【数値目標】 年間来訪者数(人) (ボランティアガイド案内者数) H28 : 3,500 H32 : 4,500</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>30年4月に続日本100名城スタンプラリーが始まり、来訪者数が大幅に増加し、数値目標を達成した。 また、継続事業のほか、新規事業として講演会、企画展を開催したことで、九戸城跡の情報発信・活用を図ることができた。</p> <p>[今後の方向性等] 引き続き、情報発信に努め、来訪者の増加や認知度の向上に努める。</p> <p>【数値目標の実績】 年間来訪者数(人) (ボランティアガイド案内者数) H30 : 8,299 (対H28目標 237%) (対H32目標 184%)</p>
項目	③その他文化財の保護と活用		
事業名	目的	平成30年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
文化財保護事業 【文化財課】	文化財等の保護・活用	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 二戸市文化財調査委員会を2回開催した。 平成30年4月13日「折爪岳のヒメボタル生息地」が県指定天然記念物に指定となった 指定候補案件の調査を行った。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>文化財調査委員会を開催し、適切に文化財の保護、活用が図られた。 また、「折爪岳のヒメボタル生息地」が県天然記念物となり、文化財を保護し次世代に継承して行くことができた。</p> <p>[今後の方向性等] 「折爪岳のヒメボタル生息地」の保存活用計画を協議するなど、適切な文化財の保護、活用に努める。 また、指定候補案件については、指定に向けた調査を引き続き行う。</p>
日本遺産申請事業 【文化財課】	文化財の活用を図るため、日本遺産認定を目指す。	<p>[新規]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「安比川流域の漆文化」をテーマとしたストーリーの検討 日本遺産を通じた地域活性化の検討 関係機関、関係部課等との協議 八幡平市との協議 	<p>◎評価 【 C 】</p> <p>令和元年度認定申請を目指し準備を進めていたが、共同提出者となる八幡平市との協議が整わなかったことから申請には至らず、令和2年度申請を目指すこととなった。</p> <p>[今後の方向性等] 令和2年度認定申請に向け、庁内及び八幡平市との協議を進め、申請手続きを行う。</p>
埋蔵文化財発掘調査事業 【文化財課】	埋蔵文化財包蔵地の保護	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内遺跡発掘調査事業 【個人住宅】前小路遺跡、中曽根遺跡(石切所)の発掘調査(3件/151㎡) 【民間開発】天台寺跡(浄法寺)、堀野遺跡群(堀野)の発掘調査(3件/870㎡) 【公共事業】下構遺跡(仁左平)の発掘調査(1件/730㎡) 【史跡調査】九戸城跡の発掘調査(2件/446.08㎡) 土地区画整理区域発掘調査事業 石切所地区の前小路遺跡群(石切所)の発掘調査(1件/2,095㎡) 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>円滑かつ適切に調査を実施し、埋蔵文化財包蔵地の記録保存を行うことができた。</p> <p>[今後の方向性等] 今後も、適切な調査に努める。</p>

分野4 芸術文化の振興

事業名	目的	平成30年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
埋蔵文化財保存活用事業 【文化財課】	文化財保護の普及	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験学習の企画、受け入れを行った。(4回 23人) <p>[新規]※再掲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財センター展示室において、史跡調査30年の歩みと題し、企画展を開催した。(44日開催、315人) <p>【数値目標】</p> <p>埋蔵文化財センター入館者数(人)</p> <p>H28 : 520 H32 : 550</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>続日本100名城スタンプラリー、九戸城跡企画展の開催などにより来館者が増え、埋蔵文化財の知識の普及及び啓発を図ることができた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>調査報告会の開催、体験学習の企画、企画展の開催など埋蔵文化財の活用を推進する。</p> <p>【数値目標の実績】</p> <p>埋蔵文化財センター入館者数(人)</p> <p>H30 : 1,308 (対H28目標 252%) (対H32目標 238%)</p>
歴史・文化交流施設整備事業 【文化財課】	天台寺と漆を中心とした、情報発信と地域住民の交流機能を併せもった施設と周辺の整備	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで、歴史文化交流施設整備事業として検討を進めてきたが、30年6月に策定された公民連携基本計画において、公民連携事業に切り替えて天台寺周辺エリアの整備・活用のあり方を再検討することとなった。 	<p>◎評価 【 - 】</p>

分野4 芸術文化の振興

施策	(3) 郷土への誇りと愛着を深める地域文化の継承		
項目	①歴史民俗資料の収集と研究の推進		
事業名	目的	平成30年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
民俗資料の収集・調査 【文化財課】	歴史民俗資料の収集、保存、調査	<p>[継続]</p> <p>歴史民俗資料館において、民俗資料等の収集、調査研究、各種照会への対応を行った。</p> <p>1 二戸歴史民俗資料館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座「続・新にのへ物語Ⅲ」 5回開催 受講者 82人 ・講演依頼等対応 7回 135人 ・文化祭特別展「明治19年二戸市内小学校のテスト問題」 来場者 90人 <p>2 浄法寺歴史民俗資料館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演依頼等対応 2回 61人 ・文化祭特別展「天台寺五箇村」、「天台寺本堂保存修理工事」進捗状況写真展示 来場者 572人(文化祭会場) ・「南部藩ゆかりの地を巡る研修会」参加者 34人 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二戸歴史民俗資料館入場者数(人) H28 : 1,100 H32 : 1,100 ・浄法寺歴史民俗資料館入場者数(人) H28 : 700 H32 : 700 ・講座、企画展の開催(回) H28 : 8 H32 : 9 	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>入館者数については、二戸歴史民俗資料館のみ目標を下回ったものの、両館合わせた入館者数は1,750人となり、数値目標を概ね達成した。講座・企画展については、積極的な開催により、歴史・民俗資料の周知を図ることができた。</p> <p>また、資料館については、民俗資料等の受け皿としての機能を果たすことができた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>引き続き、民俗資料の収集と調査研究を行うとともに、多くの方が資料館を活用できるよう、講座や企画展を開催していく。</p> <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二戸歴史民俗資料館入場者数(人) H30 : 905 (対目標 82%) ・浄法寺歴史民俗資料館入場者数(人) H30 : 845 (対目標 121%) ・講座、企画展の開催(回) H30 : 17 (対H28目標 213%) (対H32目標 189%)

項目 ②歴史民俗資料館整備方針の検討			
事業名	目的	平成30年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
歴史民俗資料館の整備の検討 【文化財課】	地域の歴史、文化、民俗の各資料の展示保管施設の整備	[継続] ・歴史民俗資料館の整備については、九戸城周辺地区及び天台寺周辺地区のあり方と併せて検討することとし、公民連携基本計画に位置づけられた。	◎評価 【 B 】 公民連携基本計画において位置づけられたことにより、検討の方向性が示された。 [今後の方向性等] 引き続き公民連携基本計画において九戸城周辺地区、天台寺周辺地区での、移転、建替え、複合化集約化などについて慎重に検討を進める。
項目 ③市史編さん事業の推進			
事業名	目的	平成30年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
史料叢書の継続発刊 【生涯学習課】	二戸市に関する史実をきちんとまとめ、後世に残し伝えるため、数多く残されている史料の調査研究をしながら二戸市史を刊行する	[継続] ・史料叢書第十九集「藩政期の二戸 福岡 浄法寺Ⅱ」を発刊 ・北奥路程記解説書の作成	◎評価 【 A 】 書籍の発刊に加え、市史編さん室嘱託員が図書館主催の古文書解説講座で講師を務めるなど、歴史への興味を喚起する取組を実施した。 [今後の方向性等] 市内に現存する史料は多数あり継続して史料の読解整理を進め、史料叢書等にまとめ史実を残し伝えていく。

分野5 スポーツの推進

施策 (1) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進			
項目		①生涯にわたるスポーツの推進	
事業名	目的	平成30年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
スポーツ・交流大会・スポーツイベント・フォーラム等の開催 【生涯学習課】	子どもから高齢者まで、さまざまなライフステージでスポーツを楽しむことができる機会や地域住民のニーズに応じたスポーツ活動の環境の提供に努める	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市体育協会や体力づくり振興会等と連携し、各種大会等を開催した。 ニュースポーツ交流大会 131人 体力づくり野球大会 18チーム 体力づくりソフトバレー大会 6チーム 市内少年野球大会 5チーム 市内小中学校相撲大会 6校 16チーム 市内ミニバスケット大会 15チーム 市内スキー選手権大会 22人 市民水泳大会 120人 等 市民総参加スポーツ大会 ※台風のため中止 ナイターバレーボール大会 ※参加者少数のため中止 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>参加者が少数のため中止となった大会があったものの、各種大会を企画・開催することにより、スポーツを楽しむ機会、スポーツ活動の環境を提供することができた。 なお、市民総参加スポーツ大会は台風のため、参加者の安全に配慮して中止の判断をした。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>引き続き、スポーツに触れ合える機会の提供と、環境整備に努める。</p>
健康スポーツ教室・出前講座 【生涯学習課】	心身の健康の保持増進やスポーツに参加するきっかけとなるような機会を提供する教室等の開催に努める	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市体育協会や体力づくり振興会等と連携し、各種教室等を開催した。 水中運動教室 18回 185人 柔道・剣道教室 75人 浄法寺地区スポーツ教室 17人 にのへ土曜チャレンジ塾（ニュースポーツ体験） 3回 122人 ニュースポーツ体験会 1回 19人 等 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>各種教室等については、幅広い世代の人たちを対象に計画どおり開催し、スポーツに参加する機会を提供した。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>引き続き、心身の健康保持や増進、健康寿命を延ばすため、二戸市体育協会や関係機関との連携し、健康スポーツ教室等の開催に努める。</p>
スポーツ関連情報の提供 【生涯学習課】	各種大会の開催情報、結果情報を発信し、スポーツに対する意識の高揚と興味の増進に努める	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市体育協会や各競技団体と連携を密にし、広報にのへやホームページを活用し、スポーツ開催情報や結果の周知を図った。（お知らせ号へ毎月掲載） 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>広報にのへやホームページを活用した情報提供に努めた。過去の大会結果や、広報にのへに掲載できなかった成績もホームページで紹介し、市民の活躍や取り組みの発信に努めた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>広報、ホームページを活用し、迅速かつ的確に情報発信を行う。</p>
項目		②地域のスポーツ環境の整備	
事業名	目的	平成30年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
スポーツ推進委員の研修会参加 【生涯学習課】	「スポーツを支える（育てる）人」としての研さんは不可欠であり、各種の研修会への積極的な参加を進め、資質の向上に努める	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北地区研修会、県研修会や二戸地区研修会に参加し、幅広く他地域の事例を学んだ。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>各種研修会へ参加し、他地域の委員と交流、情報交換するなど、様々な知見を得ることができた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>引き続き、自主開催にあわせ、他団体の開催情報を把握し、参加者の資質向上に努める。</p>

事業名	目的	平成30年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
総合型地域スポーツクラブの支援・育成 【生涯学習課】	身近な地域でスポーツに親しむことのできる環境を充実させるため、地域住民の自主的な運営を目指す「総合型地域スポーツクラブ」の支援、育成に努める	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浄法寺スポーツクラブ、氷上スポーツクラブの活動に対し、広報等での周知や実施事業に対し補助を行った。 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブ数(団体) H28 : 2 H32 : 3 ・加入者数(人) H28 : 450 H32 : 500 	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>新規に創設を目指す団体の発掘や新クラブ創設への支援は低調だったが、既存クラブへの支援は計画どおり実施できた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>引き続き、既団体の支援とともに新たな団体の創設に努める。</p> <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブ数(団体) H30 : 2 (対H28目標 100%) (対H32目標 67%) ・加入者数(人) H30 : 382 (対H28目標 84%) (対H32目標 76%)
項目	③スポーツを通じた健康づくりの推進		
事業名	目的	平成30年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
スポーツ指導者講習会の開催 【生涯学習課】	各地域において、心身の健康の保持増進等を気軽に取り組むことができる環境を整えるため、環境を支える人材の育成に努める	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市体育協会等と連携し、各種指導会等や講習会を開催した。 <p>スポーツ医・科学講座 生涯スポーツ担当者等研修会 スポーツリーダー養成講習会 等</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>各種指導会等の開催により、健康運動に関する最新の情報やスポーツの楽しさを伝える機会を提供できた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>引き続き、自主開催にあわせ、他団体の開催情報を把握し、参加者の資質向上に努めると共に、参加者を増やす取組も検討する。</p>
項目	④ スポーツ施設の整備・充実		
事業名	目的	平成30年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
学校体育施設開放事業 【生涯学習課】	多くの市民がスポーツに触れ合えるために、スポーツ施設や学校体育施設の効果的・効率的な活用に努める	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の体育施設を開放することにより、スポーツ活動に取り組みやすい環境づくりに努めた。 <p>30年度実績 16団体 415回 5,824人</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>継続的に市民周知を実施し、利用促進に努めた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>引き続き、施設の有効活用に努める。</p>
スポーツ施設の計画的改修 【生涯学習課】	老朽化が進んでいるスポーツ施設は計画的に整備・改修を進める	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大平球場非常用放送設備改修工事 ・大平球場スコアボード操作設備改修工事 ・大平球場受変電設備改修工事 ・浄法寺運動公園野球場放送設備修繕 ・浄法寺体育館玄関ポーチ庇修繕 等 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>老朽化の状態に応じて、計画的かつ適切に改修を進めており、概ね達成できた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>利用者、利用団体、指定管理者と協議を重ね、安全な施設運営に必要な整備・改修を進める。</p>
スポーツ施設整備基本構想の策定 【生涯学習課】	市民が、安全に楽しくスポーツに親しめ心身の健康保持、増進を推進するとともに、全国レベルの選手の育成・強化を図る環境整備のため基本構想の策定をする	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文教施設指定管理等検討委員会で、他の施設とともに整備改修について検討した。 ・カーリング施設に関しては、庁内検討委員会で協議したほか、市内カーリング関係者との検討会を開催し、施設整備に向けての課題共有意見交換を行った。 	<p>◎評価 【 C 】</p> <p>既存のスポーツ施設について施設の方向性を検討したが、基本構想の策定には至らなかった。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>カーリング施設整備にあたっての課題解決に向けた検討も含め、スポーツ施設全体の基本構想の策定にむけ、利用者、利用団体等とも協議し、市民が安全にスポーツに取り組める環境整備・施設整備について検討を進める。</p>

施策 (2) 競技力向上に向けた選手の育成と指導者の養成			
項目 ①選手の育成・強化と競技力の向上			
事業名	目的	平成30年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
各種スポーツ団体の育成・支援 【生涯学習課】	各種競技人口の増加と競技力の向上を図るため、学校部活動、地域スポーツクラブ、スポーツ少年団等と連携に努める	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ団体の活動に対し、補助金等の支援を行った。 <p>いわて国体記念スポーツ交流事業補助金(8団体) 770千円 市体育協会補助金 3,000千円 市スポーツ少年団補助金 60千円 市体力づくり振興会補助金 700千円 浄法寺地区体育祭実行委員会補助金 350千円 県民大会バレーボール競技補助金 150千円</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>補助金の活用により、他地域との交流が図られ、市内競技者のレベルアップにつながった。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>補助事業の周知徹底を図り、引き続き、各種団体等に対して支援を行うと共に、健全な団体育成に努める。</p>
各種スポーツ教室の開催 【生涯学習課】		<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 市体育協会や各競技団体等と連携し、各種教室等を開催した。 <p>柔道・剣道教室 75人 スキー教室 26人</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>各種教室等では、小中学生を対象に計画どおり開催し、技術等の向上につながった。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>競技者や各種団体の意向把握し、スポーツ教室等を開催する。</p>
「二戸市小・中学生スポーツ活動指針」に係る調査の継続 【生涯学習課】	小中学生の健全な心身の育成につながるスポーツ活動の実態把握のため調査を行う	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学校、スポーツ少年団等に対しスポーツ指針の周知徹底に努めた。 現状把握のため調査を実施した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>各学校、スポーツ少年団等に対しスポーツ指針周知徹底に努めるとともに現状把握調査を実施し、活動指針の改定につなげることができた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>二戸市小・中学生スポーツ活動指針の周知徹底と共に、現状把握調査を行い、小・中学生の健全な心身の育成に努めていただくよう指導者等の協力を仰ぐ。</p>
項目 ②トップアスリートにふれる機会の創出			
事業名	目的	平成30年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
トップアスリート等によるスポーツ教室・講演会等の開催 【生涯学習課】	夢や希望を育み、競技力を向上させる意識高揚を図るため、トップアスリート等によるスポーツ教室・講演会等を開催する	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 県大会レベルの大会が開催され、高いレベルの技術を見ることができたが、市主催による事業の実施には至らなかった。 	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>トップアスリートの講演等を独自開催することはできなかったが、各種団体と連携し、カーリング日本代表によるカーリング教室等が開催できた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>各種団体等と連携し、トップアスリート等によるスポーツ教室・講演会等の開催に努める。</p>

